

議会だより

No.171

2024年1月25日

発行 稲美町議会

いなみ



稲美町イメージキャラクター「いなっち」



新たな気持ちで
参拝者をお迎え
(草谷天神社 初詣)

11月臨時会

12月定例会

集落営農育成事業・清掃センター追加工事費を増額 2P

地域振興商品券 1人当たり3千円 3P

まちづくりをどうする 13人が一般質問 7P

臨時会

清掃センター解体撤去工事

追加工事費を増額

第186回臨時会は、11月16日に開催されました。清掃センター解体撤去の追加工事、農業経営体へのスマート農業機器等の導入支援に係る費用などの5年度補正予算1議案を可決しました。



解体撤去工事が進む清掃センター（左：5年9月撮影 右：5年12月撮影）

一般会計補正予算
(第4号)

清掃センターは、4年度から2カ年の計画で解体撤去工事が進んでいます。煙突の解体工事に取掛かる際に、煙突上部の鋼板の内側が断熱材で覆われていることが分かりました。断熱材の撤去は当初の工程に含まれていないため、一般廃棄物処理施設等整備基金を活用し、追加で撤去工事を行うことになりました。

主な質疑

問 解体工事開始前に把握できなかったのか。

答 建設当初時の図面には断熱材の表記がなく確認できなかった。

問 追加工事の内容は。

答 煙突は、上から順に切断し、大型クレーンで地上に降ろしてから解体する。鉄筋コンクリート製の煙突をガスバーナーで切断する際、断熱材が燃えると危険なため、切断前に鋼板と断熱材を完全に取り除く。

問 追加工事により、工期に影響はないか。

答 予定どおり6年3月末までに完了予定。

○農業経営体にスマート農業機器等の導入を支援

肥料高騰等により影響を受けている農業経営体に対し、生産コスト低減に役立つスマート農業機器等の導入を、県の補助金を活用し支援します。

主な質疑

問 申請状況は。

答 11営農組合から直進アシスト機能付田植機、自動操舵機能付トラクターなどの申請があった。

|| 全会一致 可決 ||

令和5年度 一般会計補正予算 (第4号)

補正増額 5,395 万円 総額 126 億 4,204 万円

集落営農育成事業費などを増額

〈第4号〉歳出の主な内容

○集落営農育成事業 4,436 万円増額

肥料高騰等により影響を受けている農業経営体に対し、生産コストを減少させるためのスマート農業機器等の導入を支援する補助金です。

○清掃センター解体撤去事業 568 万円増額

清掃センター解体撤去工事において、追加工事を行うための費用です。

= 全会一致 可決 =

定例会

12月定例会は11月30日に招集され、12月15日までの16日間の日程で開かれました。条例の改正をはじめ、補正予算、指定管理者の指定、決議など17議案を可決しました。一般質問は13人の議員が行い、町の施策について活発な議論を展開しました。(7〜14ページ)なお、今期定例会の傍聴者は、延べ24人でした。

地域振興商品券

1人当たり3千円交付

一般会計補正予算 (第6号)

○住民に地域振興商品券を交付

物価高騰の影響を受けている住民や売り上げが減少している町内の事業者に対し支援を行うために、住民1人当たり3千円の地域振興商品券を交付します。

主な質疑

問 過去2回は1人当たり5千円の交付だったが、今回はなぜ3千円か。

答 この事業に活用できる国から交付予定の交付金の額、近隣市町の取組状況などを考慮し決定した。

問 過去2回は商品券を使える場所は町内事業者限定となっていたが、今回も同様か。

答 過去2回は、町内事業者がコロナ禍で疲弊していた状況で、町内での消費を喚起し事業者を下支えすることが目的だったが、今回は物価高騰による住民支援を行うことを目的

としている。そのため、本店(本社)所在地が町内外に関係なく、対象を町内の事業者とし、商品券の使用可能範囲を拡大する。

問 商品券の交付時期及び使用期限は。

答 6年4月に発送し、使用期限は同年12月末の予定。

○非課税世帯等に臨時特別給付金を給付

物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯等に対して、国か

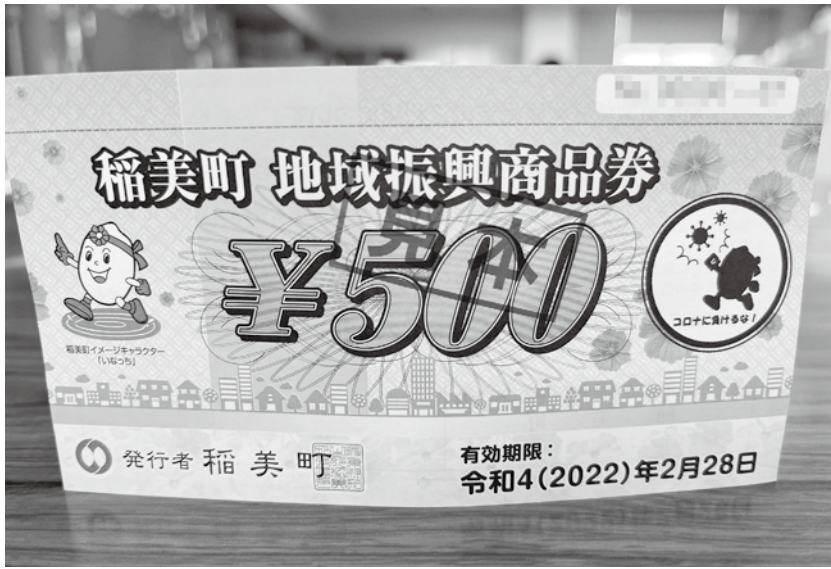
らの交付金を活用し、1世帯当たり7万円を給付します。

主な質疑

問 給付方法及び給付時期は。

答 非課税世帯には文書でお知らせし、振り込む。新しく給付の対象となった世帯は、振込口座の届出が必要となる。振り込みは、6年2月下旬頃を予定している。

〓全会一致 可決〓



前回交付された地域振興商品券



自然豊かな「いなみ野水辺の里公園」

いなみ野水辺の里公園の 指定管理者決定

稲美町立いなみ野水辺の里公園の管理を行う指定管理者の指定期間が、6年3月31日まで満了となります。

これに伴う次期指定管理者として、現在の指定管理者である「特定非営利活動法人 環境ユーイングてんま」の指定が可決されました。

管理を行う施設

稲美町立いなみ野水辺の里公園

指定期間

6年4月1日から11年3月31日まで

主な質疑

問 現在の人員体制は、職員14人、ボランティア15人などで運営されている。

答 来場者を増やすために、どのような工夫がなされているのか。

答 「公園だより」の発行やSNSでの活動紹介、QRコードからの申し込みで手続きの軽減を図るなど、来場者の裾野を広げるための工夫がなされている。

＝ 全会一致 可決 ＝

令和5年度 一般会計補正予算（第5号、第6号）

補正増額 4億7,064万円 総額 131億1,269万円

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費及び稲美町地域振興商品券事業費などを増額

〈第5号〉歳出の主な内容

○自立支援事業

7,085万円増額

障がいのある人が利用するサービス費用を給付する自立支援給付費などの増額です。

○学校給食一般管理事業

384万円増額

給食食材の物価上昇分を支援するための交付金の増額です。

＝ 全会一致 可決 ＝

〈第6号〉歳入の主な内容

○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

2億2,192万円新設

物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり7万円を給付するための国庫補助金です。

○物価高騰対策保育施設等一時支援事業補助金

343万円増額

物価高騰の影響を受けている保育施設や放課後児童クラブ等に対して、光熱水費等の物価上昇分の一部を支援するための県補助金の増額です。

〈第6号〉歳出の主な内容

○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業

2億2,341万円増額

物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり7万円を給付するための費用です。

○稲美町地域振興商品券事業

1億685万円新設

物価高騰の影響を受けている住民や町内の事業者に対し支援を行うための住民1人当たり3千円の地域振興商品券を交付するための費用です。

＝ 全会一致 可決 ＝

清掃センター解体撤去工事

工事請負契約を変更

4年9月定例会で請負契約を可決し、解体撤去工事が進んでいた清掃センターは、煙突の解体工事の前に、煙突を覆う断熱材の撤去工事が追加で必要になりました。

ト部分を撤去する。煙突の撤去が全て終わるのは6年1月下旬の予定。

5年11月16日の臨時会で、追加工事に係る費用の補正予算が可決したことを受け、断熱材の撤去工事などを追加した工事契約に変更します。

また、断熱材の撤去に併せて、従来から定期的な実施している水質調査を、地元からの要望により回数を増やして実施する。

その後、整地工事や残務工事を経て、全ての工事が完了するのは、工期内の6年3月末を予定している。

Ⅱ全会一致 可決Ⅱ

主な質疑

問 工事の追加による今後の工程は。

答 5年12月中旬から煙突の鋼板と断熱材の撤去に取り掛かり、その後、鉄筋コンクリー



改正された条例

○特別職の職員で常勤のものとの給与に關する条例の一部改正

町から消防団分団へ交付している消防団分団運営補助金において、長年、町補助金等交付規則に則った実績報告書の提出を求めてこなかったこと、余剰金の返還を求めてこなかったことなどの不適切な事務処理に対し、町長の6年1月分の給料を10%減額します。

主な質疑

問 消防団分団運営補助金は、これまで独自の要綱等がなかったが、整備するのは、

答 要綱等をできるだけ早く作成し、今後は適切な予算執行に努めたい。

問 一町長、副町長、教育長の給料額及び議会議員の議員報酬額を議事に提出しようとするときは、あらかじめ

委員7人で構成する稲美町特別職報酬等審議会の意見を聴くものとする」と条例に規定されている。この案件は、この審議会上に諮問したのか。

答 条例では例外を認めていないような規定になっているが、審議会の意見は拘束力がな

ることや、地方自治法では首長が専決処分を行うことも認められているため、審議会上に諮っていない。また、議会で審議をいただくことから、緊急性がある場合などに限り、審議会の審議を経ずに議会に条例案を提出することが可能と判断した。

問 現在の町長のみならず歴代町長が長年にわたり継続してきたことであるが、なぜこの時期に提案されるのか。

答 問題の指摘を受けてから1年近く経ち、調査も進んでいる。4年度分に関しては余剰金の返還を求め、それ以前

の処理分の対応にも努めているので、この

のタイミングで責任をとりたい。

問 消防団は、本業をもちながらボランティア精神で頑張っている。この活動に影響が及ばないような対応を望む。

答 時代の変化に伴い、消防団のあり方を変え

べき部分もあると考える。消防団を、住民の理解を得られるような存在にしていきたい。



〈反対〉 山田 立美

町長給料の減額措置が及ぼす影響からして、特別職報酬等審議会の調査審議を経て判断すべきなので反対する。

〈賛成〉 木村 圭一

町長自ら給料削減の提案をしたことは非常に重いことだ。議会として受け止めるべきだ。

Ⅱ賛成多数 可決Ⅱ
(賛成8、反対4、退席1)

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)



〈反対〉 大路 恒

75歳で年齢を区別する後期高齢者医療制度は、国民の世代間の対立と分断を齎るもの。よって反対する。

〈賛成〉 関籾 真澄

高齢者の皆さんに必要な医療を安心して受け続けて頂くための制度で、額の確定の補正予算のため賛成する。

〈賛成〉 山田 立美

県の運営による医療制度であり、この補正予算案は広域連合への納付金額の確定に伴う補正なので賛成する。

Ⅱ賛成多数 可決Ⅱ
(賛成12、反対1)

決議を国へ提出

北朝鮮の弾道ミサイル技術を使用した発射に抗議する決議

去る11月21日、北朝鮮は、我が国をはじめ国際社会からの強い非難にもかかわらず、弾道ミサイル技術を使用した発射を強行した。沖縄県の上空を通過し、国民の安全・安心に重大な脅威を及ぼした。

このたびの行為は、弾道ミサイル技術を使用したいかなる発射も行わないよう北朝鮮に義務付けた国連安保理決議に明白に違反し、国際社会の平和と安定を強く損なうものである。

北朝鮮は、去る8月にも弾道ミサイル技術を使用し、今回と同様に沖縄県上空を通過する発射を行うなど挑発的な行為を繰り返しており、このような中での今回の行為は、断じて容認することはできない。

よって、稲美町議会は、今回の北朝鮮による発射に対し、断固抗議する。我が国政府においては、我が国の安全を脅かすこのような行為が繰り返されることのないよう、国際社会と更なる連携を図りながら、北朝鮮に対し毅然とした態度で実効ある措置を講じられるよう強く求めるものである。

北朝鮮の弾道ミサイル技術を使用した発射に抗議する決議案が、

官房長官、総務大臣、外務大臣、防衛大臣など

北朝鮮の弾道ミサイル技術を使用した発射に抗議する決議

◎決議の提出先

Ⅱ全会一致 可決Ⅱ

可決しました

決議のゆくえ

関灘真澄議員から提出されました。

12月定例会

議案などの審議結果【11月臨時会・12月定例会】

賛否の分かれた議案

議案名	賛成	反対	議決結果	議決日	松村	小笠	藤田	小山	大山	樋口	山田	河田	山口	大路	長谷川	池田	関灘	木村
					芳樹	竜広	義光	裕美	和明	瑞佳	立美	公利助	守	恒	和重	博美	真澄	圭二
条例 特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正	8	4	可決	12/15	○	○	○	×	×	×	×	退	○	○	○	-	○	○
5年度予算 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	12	1	可決	12/15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○

〔表示例〕 ○……賛成 ×……反対 退……退席
 ※議長は採決に加わりませんので「-」で表示しています。ただし、賛成と反対が同数の場合には、議長が決めます。

全員が賛成した議案

議案名	議決日
条例 ▶職員の給与に関する条例及び稲美町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 ▶議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 ▶特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正 ▶国民健康保険税条例の一部改正	12/15
5年度予算 ▶一般会計補正予算（第4号）	11/16
▶一般会計補正予算（第5号・6号） ▶国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ▶介護保健特別会計補正予算（第3号） ▶水道事業会計補正予算（第3号） ▶下水道事業会計補正予算（第2号）	12/15
契約 ▶稲美町清掃センター解体撤去工事請負契約の変更契約の締結	11/30
決議 ▶北朝鮮の弾道ミサイル技術を使用した発射に抗議する決議	12/15
その他 ▶稲美町立いなみ野水辺の里公園の指定管理者の指定	12/15

まちづくりをどうする

ここが聞きたい!!



※登壇順（質問順）に掲載しています。

質問者	掲載ページ	質問事項
関瀬 真澄	8	<ul style="list-style-type: none"> ①アダプト・プログラムの導入を提案する ②女性消防団員を問う ③観光大使などで観光振興を考えては ④ため池の整備についてを問う
木村 圭二	8	<ul style="list-style-type: none"> ①物価高騰対策を求める ②消防団分団運営補助金を問う ③自治会推薦選挙と消防団員の選挙運動を問う ④防犯灯の増設と街灯の電気料金は公費負担に ⑤PTA会費での学校園の備品購入を問う ⑥介護保険事業計画を問う
河田公利助	9	<ul style="list-style-type: none"> ①交通網の多様化を ②特定外来生物対策と在来種の保存を
山田 立美	9	<ul style="list-style-type: none"> ①町営下沢住宅の環境問題を問う ②公共交通の利用拡大と通勤・通学者の交通安全対策について
大山 和明	10	<ul style="list-style-type: none"> ①稲美町の発展には地域交通政策づくりを ②農業に頼らない稲作技術実証事業について聞く ③加古大池利活用施設の管理運営を問う ④防犯カメラの町内整備について
長谷川和重	10	<ul style="list-style-type: none"> ①有害鳥獣対策について問う ②国より譲与された法定外公共物について問う ③稲美町北東部地区土地利用構想及び南部の土地利用について問う ④町道草谷学校線歩道新設について問う ⑤防犯カメラ増設について問う ⑥スポーツ施設利用について問う ⑦高齢者・若い世代の安全安心な定住促進について問う
藤田 義光	11	<ul style="list-style-type: none"> ①天満東小学校、天満東幼稚園の通学路について ②いなみっこ広場の利用について
樋口 瑞佳	11	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもの権利に関する条例制定を ②町立幼稚園、小学校、中学校を国際バカロレア認定校に ③稲美町の「35人学級」の状況は ④当町の水道水における有機フッ素化合物PFAS（ピーファス）の値は ⑤タクシー券（高齢者優待利用券）の利用について
山口 守	12	<ul style="list-style-type: none"> ①奨学金返済支援の取り組みは ②企業誘致の取り組みは ③農業の経営基盤を強くする方策は ④バス停の待合環境の向上を
松村 芳樹	12	<ul style="list-style-type: none"> ①稲美町の不登校児童生徒支援について問う ②農業の担い手と有機農業について問う
小笠 竜広	13	<ul style="list-style-type: none"> ①防犯カメラ、防犯灯の大幅な増設を早急に ②稲美町主催の加古大池での花火大会復活を
大路 恒	13	<ul style="list-style-type: none"> ①諸物価高騰のおり農家への支援を ②あいのりいなみやタクシー券の利用法の改善を求める
小山 裕美	14	<ul style="list-style-type: none"> ①児童虐待の現状と対策 ②飼い主のいない猫（野良猫）を減らすために活動支援を ③町の魅力発信と地域振興の推進

🎤のある質問事項を掲載しています。



せき なた ま すみ
関 灘 真 澄

観光の振興に観光大使の任命は

〔経営政策部長〕 時期と人選などを検討している

アダプト・プログラム
この制度は、住民と行政が役割分担を定め「まち美化」などを進める仕組みである。協働まちづくりの推進のため、当町にも導入を。

アダプト・プログラム

観光は、地域経済活性化の推進力で新たな成長の原動力だ。地域再生・活性化の有力な手段として、地元出身者で活躍されている人を観光大使としては。
経営政策部長 町の魅力発信のため、任命時期及び人選なども併せて、現在検討している。



維持管理が困難なため池「奥の池」

経済環境部長 長年住民の善意で美化活動は行われている。今後もパートナーシップを大切に取組んでいく。
町外所有者のため池は
当町の町外所有者のため池の維持管理は困難だ。改善策は。
経済環境部長 ため池関係機関と通じて適正な管理をお願いする。

現在の女性消防団員は

経済環境部長 在籍はないが、若年層も含め性別にとらわれず、幅広い団員確保に努める。

一般質問

物価高騰から住民生活を守れ

〔経営政策部長〕 全住民へ商品券を配布



きむら けんじ
木村 圭二



相の山に設置されている街灯

物価高騰が続いている。国の重点支援地方交付金に加えて、財政調整基金を活用して住民生活の支援を。
経営政策部長 国の重点支援地方交付金に一般財源を加えて、全住民へ商品券を配布する。

サプライズ花火5回分
街灯の電気料金は自治会に負担させているが、自治会を退会する人が増えており公平性が保たれていない。
サプライズ花火5回分で街灯の電気料金は公費負担にできる。
経済環境部長 地域の

要望で設置しており、電気料金は自治会負担をお願いしたい。
余剰金38万円の返還を
4年度の消防団分団運営補助金に38万円の余剰金がある。返還を求めているので財務規則に違反する。

町長 これまでは補助金に対して実績報告書の提出を求めているなかった。4年度の余剰金は、12月中の返還を求めている。過去の余剰金は、現在各分団長に照会をかけている。

運転手不足の交通事業者に補助は

経営政策部長 稲美町のみにでは効果が低い



河田 公利助

全国的な運転手不足で、タクシートの予約が取りにくくなっている。バス会社も含め、運転手確保のための補助はできないか。

小さな移動に「グリーンスローモビリティ」を導入できないか。経営政策部長 稲美町にふさわしいのか先進事例を注視する。

特定外来生物の対応は

地球上最悪の侵略的植物といわれる「ナガ

エツルノゲイトウ」の繁殖が勢いを増している。当町の対応は。

経済環境部長 有識者の指導のもと、地元土地改良区、県及び関係機関と連携し、駆除作業を実施している。

6月からアカミミガメやアメリカザリガニが条件付特定外来生物に指定された。対応は。

経済環境部長 野外に放すことが法で禁止された。あまり知られていない法改正なので、近隣市町等の対応と足並みをそろえ検討する。

町営下沢住宅の環境問題の対応は

地域整備部長 定期清掃の強化を検討する



山田 立美

空き家の不法投棄物、植栽、雑草の管理は。

地域整備部長

随時清掃や草刈りを行い、今後も見回りを強化し、適切な管理に努める。対応が難しい部分は予算をかけて対応したい。

役場職員が清掃活動した時間と人数をコスト換算すると、相当な金額になる。外部委託する方が良いのではないか。

地域整備部長

県は指定管理者制度を使っているが、業者委託となるとコスト面で大きくなる可能性がある。



町道農学校側線の朝の様子（西和田地区）

町の約6割に当たる路線バスを利用しにくい地域に居住する通勤・通学者の公共交通の利用拡大策は。

経営政策部長

課題も多く、現在のところ新たな対策はないが、交通需要は今後も見据えていく必要がある。

通勤・通学者に対する自転車用ヘルメットの普及策は。

経済環境部長

交通安全全教室やポスターの設置など、ヘルメット着用の大切さを含め交通安全に関する啓発を継続していく。



実証実験中のグリーンスローモビリティ（沖縄県北谷町）

(注) グリーンスローモビリティ 時速20km未満で走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス

一般質問

町の発展は地域交通政策づくりで

経営政策部長 利便性の高い公共交通を目指す



おやま かつあき
大山 和明

「あいのりいなみ」の医療センターへの運行は一步前進したが、全国各地では住民による地域交通「ライドシェア」も進んでいるが、

経営政策部長 国の議論の動向を注視する。

新規事業で取り組んだ農業に頼らない稲作

技術実証事業の状況は。

経済環境部長 事業は計画どおりに進み、収穫もほぼ順調であった。

加古大池活用施設の管理運営の状況は。

経済環境部長 指定管理者の現地対応が遅れていたが、その都度確認し、改善に向けた指導を行っている。

水生植物園の今後の管理は。

経済環境部長 看板設置や除草を行い適正に管理される予定である。公園への健康遊具の設置検討は。

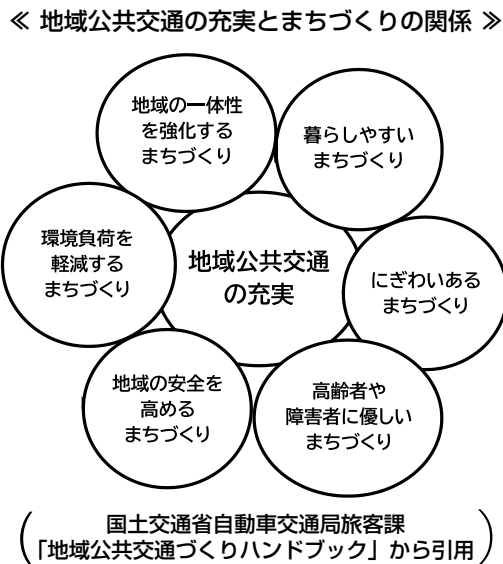
地域整備部長 今年度から整備する国安小池公園に設置予定である。

自治会設置の防犯カメラの維持管理は。

経済環境部長 保守点検は設置者でお願いしており、修繕費用は補助制度を活用いただいている。

国土交通省自動車交通局旅客課

「地域公共交通づくりハンドブック」から引用



住民ファーストの施策を求む

健康福祉部長 住民が利用しやすいよう考えたい



せがわ かつあき
長 谷川 和重

子育て世帯への経済支援を。

健康福祉部長 稲美町共通商品券5万円を支給する「稲美町出産お祝い金支給事業」を実施している。

管理を放棄された水路が増えている。課題解決に向けた対応は。

経済環境部長 維持管理は地元でお願いしており、行政が対応するのは難しい。

町北東部地域の悪化した住環境への対応は。

経済環境部長 今後も粘り強く関係機関と連携し、改善が図られるよう努める。

高蘭寺前交差点からさくらの森公園交差点までの歩道新設計画は。

地域整備部長 危険な箇所、整備環境が整った区間を優先的に着手していく。

スポーツ施設の町民優先利用を。

教育政策部長 町外在住者よりも早く予約できるよう検討している。

運動免許証を返納した高齢者への支援を。



住民生活を支える役場窓口

天満東校区通学路の安全確保を

町長 安全性向上に向けた準備を進める



ふじ 藤 田 よし 義 みつ 光

天満東小学校・天満東幼稚園の周辺道路は、田園地帯で道幅が狭く、登下校時は、送迎車両などが集中し、事故の危険性が高い。事故を事前に防止するため、現状の再把握を行い、安全確保への早急な取り組みを。

町長 危険箇所などを適格に把握し、関係機関と共有し安全性向上に向けた整備を進める。

教育政策部長 危険箇所と報告がある場合は対応を検討していく。併せて、登下校指導を行っている。道路幅を広げる予定はない。

いなみっこ広場の利用制限の見直しを

集会室の利用は22時まで可能だが、夜間の利用は年に数回の状況だ。施設の有効活用のため、利用制限を見直し、幼児・小学生の空手の使用はできないか。

健康福祉部長 集会のための使用が前提で、スポーツによる使用は想定していない。一部軽スポーツで使用しているが、床の構造の点から、利用制限の見直しは困難である。



天満東小学校周辺道路

子どもの権利に関する条例制定を

教育長 子どもの権利は重要なことである



樋口 瑞佳

教育委員会主導で子どもや保護者、地域の人々と、子どもの権利に関する条例制定を。

教育政策部長 「子ども基本法」の主旨に基づき、稲美町全体で進めていくものと考えている。

教育長 子どもの権利を保障し、こどもまんなか社会を目指すことは重要である。住民理解を進めるために条例の制定が必要であるかは、今後研究していく。

タクシー券（高齢者優待利用券）利用時のタクシー不足問題

町契約のタクシー会社に電話をしても来て

くれないという声がある。運営方法の改善を。

健康福祉部長 近隣営業所の協力により、可能な限り台数確保に努めていると聞いている。

町に届いた住民の声は事業所に伝えていく。

町水道水の有機フッ素化合物PFASの値は

地域整備部長 暫定目標値をクリアしており、検査結果をホームページに掲載した。今後毎年一度検査する。



こどもや若者が意見を言う機会をたくさんつくりどんどん取り入れていく 稲美町に



やまぐち まもる
山口 守

バス停の待合環境の向上を

地域整備部長 安全に必要な対策を講じている

県道沿いのバス停の待合スペース確保やベンチの設置は。



県道沿いのバス停

地域整備部長 道路管理

理者の県は、交通安全に必要な対策を講じているが、バス待合スペース確保の事業は行っていない。道路にベンチを設置するには、道路占用許可が必要で、そのための基準がある。

奨学金返済支援を

独自の奨学金返済支援策を、県内20市町が導入している。本町も導入すべきでは。

経済環境部長 今後の

研究課題としたい。農業の経営基盤強化は

農業経営基盤強化促進法が改正され、地域の農業の将来のあり方について「地域計画」の策定が求められている。本町の取り組みは。

経済環境部長 農業振

興協議会や営農組合連絡会などで、策定推進に向けた説明を行っている。今後は、アンケートなどを実施する。農地集積の推進は。経済環境部長 出し手・受け手へのアプローチを積極的に行う。

一般質問

稲美町の有機農業の展望は

町長 学校給食に有機米を取り入れたい



まつむら よしき
松村 芳樹

有機農業のメリットは。

町長 有機農業の米は高値で取引されている。付加価値のあるものを作っていたら、町が学校給食に取り入れることで稲美町の魅力の向上と営農組合の収入確保につながると考え

ている。農業の担い手問題を解消するには。

町長 日本における米の値段は60キロ1万3千円程度で試算されており、この値段の倍くらいであれば現在の営農組合で経営が成り立ち、若い人でも米作り

を仕事に選び、担い手を解消につながると考えている。

稲美町の不登校児童生徒支援について問う

適応指導教室の表現に、どのような意図を打ち出しているか。

教育政策部長 稲美町

ではこれまで愛称の「ふれあい教室」で事業を進めてきた。今後、4年に出された文部科学省の通知を踏まえ、適応指導教室の名称を抵抗感の少ない名称に変更する予定である。



田んぼでエサを探すコウノトリ（琴池）

加古大池での花火大会復活を

町長 実行委員を公募して復活させたい



小笠原 竜広

5年度から花火大会が形を変え、分散型のサプライズ花火へ変わった。住民から急な花火により、急停車する車両が多く事故につながるなどの不安の声が多い。花火大会を復活すべきでは。

町長 長年親しまれた

花火大会は、町の活性化、郷土愛の形成の観点から必要と考える。サプライズ花火は事前告知ができないなどの課題もある。花火大会の復活に向けて、今後は住民協働のまちづくりの観点から実行委員を公募で考えたい。



分散型サプライズ花火

防犯カメラ・防犯灯の増設を

当町は、夜間の人通りが少なく死角が多い。住民の安全確保のために、防犯カメラや防犯灯の増設が必要だ。

経済環境部長 6年度

は約100カ所の防犯カメラを整備する予定。

今後定期的な設置は。

経済環境部長 防犯カ

メラ、防犯灯とも、自治会などからの要望や犯罪の発生状況を見ながら、必要があれば増設も検討していきたい。

農家への支援策を求める

経済環境部長 近隣市町の状態を注視する



おおし 大 恒

諸物価高騰の折、なかでも農家は、米価は上がらず、値下げが続く、肥料代、燃料代の支払いに困惑している。米作農家・ハウス農家・酪農家への支援策を講じるよう求める。

経済環境部長 町では、

昨年度新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの影響や原油価格などの物価の高騰により経営に影響を受けた農業者への支援臨時給付金を給付した。今年度は、国でJAなどを窓口とした肥料価格高騰対策事業が実施された。



米作後の麦作栽培

今後も引き続き国・県の支援策に関する情報収集を行い、近隣市町の状態を注視する。

「あいのりいなみ」の増便や高齢者優待利用券（タクシー券）の利用法の改善を。

経営政策部長 「あいのりいなみ」の便数は

現在増便の予定はないが、今後必要に応じて検討する。高齢者優待利用券等交付事業のタクシー券は、6年4月からの券面額、交付枚数などの見直しについて、現在検討を進めている。



こやま ゆうみ
小山 裕美

当町の児童虐待防止対策は

健康福祉部長 地域の関係機関と連携して行う

こども家庭庁によると、全国の児童虐待件数は増え続けている。当町の状況はどうか。

健康福祉部長 4年度は、虐待相談35件、一時保護10件である。虐待の可能性がある家庭への対応や支援は、**健康福祉部長** 専門職員の訪問等による安否確認や虐待の原因を取り除くなどケースに応じた支援を行っている。子どもの小さなSOを受け止める体制は、**健康福祉部長** 乳幼児健診などであごを確認したり、学校や園での言



すべての子どもに明るい未来を

動で虐待が疑われる場合は、町に連絡がある。**猫の遺棄や殺傷事件が増えている**

動物愛護法による罰則を周知しては、**経済環境部長** 近隣市町の事例を参考に、町としても啓発活動に取り組んでいきたい。

地域活性化に向けて 観光大使などによって魅力発信を行う自治体もあるが、当町では、**経営政策部長** 任命時期及び人選なども併せて、現在検討している。

LGBT理解増進法を受けて



熱心に聴き入る議員

議員人権研修会

12月19日、兵庫県人権啓発協会の生田周司先生による研修会が行われ、LGBT理解増進法施行後の動きについて学びました。

(注1) LGBTなどの性的マイノリティー当事者だけではなく、あらゆる人を含む「SOGI」という概念が、人権の観点から重要となっており、誰もが当事者であること、性の多様性を認め合うことが大切です。



生田 周司 講師

自分自身が持っている性に対する価値観が、新たな偏見、差別につながってしまったり、配慮しても、相手の理解を得られないことがあります。制度の有無に関わらず、性の多様性を理解し、一人ひとりの意識の改革が必要だと感じました。

(注1) LGBT

「L」レスビアン（女性同性愛者）、「G」ゲイ（男性同性愛者）、「B」バイセクシュアル（両性愛者）、「T」トランスジェンダー（心と出生時の性別が一致しない人）などの性的少数者を表す代表的な言葉。

(注2) SOGI (ソジ)

SO (Sexual Orientation) = 性的指向…どの性を好きになるか、ならないか

GI (Gender Identity) = 性自認…自分の性をどう認識しているか

少数派と多数派を仕切ることなく、それぞれの性的指向や自分の性を表す言葉で、全ての人に関わるもの。性の多様性を象徴する言葉でもある。

議会を傍聴してみませんか

町議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会ともに、開催の1時間前から傍聴の受け付けを始めます。

なお、要約筆記、手話通訳が必要な方は、1週間前までにお問い合わせください。

議会がどのように運営されているか、ぜひこの機会に傍聴してみませんか。

★本会議の傍聴

1. 受付場所は役場3階の議場前で、傍聴席は27席設けています。(先着順)
そのうち、3席はヘッドホンを設置し、明瞭な音声をお聴きとることができるようにしています。また、車椅子に乗ったままでも傍聴席に着けるようリフトも設置しています。
2. 傍聴人受付票に住所・氏名・年齢を記入のうえ、傍聴人受付箱に投函してください。

次回の定例会の日程(予定)

と き	予定されている主な内容
2月21日(水) 9:30～	議案の提案理由の説明
3月 5日(火) 9:30～	一般質問
3月 6日(水) 9:30～	一般質問
3月 8日(金) 9:30～	議案に対する質疑・討論・表決
3月22日(金) 9:30～	議案に対する質疑・討論・表決

★委員会の傍聴

1. 受付場所は議会事務局で、傍聴席は10席設けています。(先着順)
 2. 傍聴人受付票に住所・氏名・年齢を記入のうえ、傍聴人受付箱に投函してください。
- ※日程及び調査内容は、決まり次第稲美町のホームページに掲載します。調査内容の変更がある場合もありますので、詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせください。

予算特別委員会の日程(予定)

と き	
3月11日(月) 9:30～	3月19日(火) 13:30～
3月12日(火) 9:30～	3月21日(木) 13:30～ (予備日)
3月14日(木) 9:30～	
3月18日(月) 9:30～	

【問合先】

議会事務局 ☎ 4 9 2 - 9 1 4 7 (直通)

議会映像をインターネットで配信しています

議場へ傍聴に来ることができない人でも、議会開催日にインターネットを利用してパソコンやスマートフォンなどでライブ中継(生中継)をご覧いただけるほか、おおむね7日後(土曜日・日曜日、祝日を除く)から録画放送もご覧いただけます。

インターネットをご利用できる環境であれば、公開中の映像をいつでも視聴できますので、ぜひご活用ください。

詳しくは、町ホームページの「稲美町議会」「議会映像インターネット配信」をご覧ください。



1階ロビーのATM前に設置したモニターでも議会の様子を生中継でご覧いただけます。



現在の窓口の様子（いなみ野体育センター）

スポーツ施設などに 予約システム導入

6年6月開始予定で、町のスポーツ施設及び文化施設の予約システムを導入し、利用者の利便性の向上、事務の省力化、効率化を図る。システム導入後は、

町内在住者の予約開始時期の優先を検討している。

問 町内在住者の予約開始時期は、町外在住者よりのくらしい早く設定するのか。

答 時期は、近隣市町の事例も研究しながら進めていく。

問 全てインターネット予約となるのか。

答 インターネット予約が原則だが、窓口に端末を設置する予定。支払い方法は、

問 窓口支払いとする。インターネット決済は今後の課題である。

第7期いなみ障がい福祉計画の策定状況

障がい福祉サービスの目標、サービス見込量などを設定する「い



稲美町のふるさと納税返礼品（一部）

なみ障がい福祉計画」の第7期を策定中。

新たな国の方針、障がい者及びその家族のニーズなどに基づき策定し、障がいのある人が、地域で暮らしやすい社会の実現を目指す。

問 アンケート項目が前期と同じでは。

答 前回と比較するため、同項目で調査した。

問 アンケート回収率が低い。今後の対策は。

答 回収率向上のため、インターネット上での回答も検討したい。

ふるさと納税指定制度の基準見直し

国の基準見直しにより、募集に要する費用

は、寄附金受領証の発行などの付随費用も含まれて、寄附金額の5割以下となる。4年度の受入実績は、1万585件、3億1千344万5千円であった。

問 次年度の寄附額の目標は。

答 年々右肩上がりだが、国の制度が大きく変わり、見通せない。

問 寄附金の増加を図るための方策は。

答 現在の返礼品を維持しつつ、新しい返礼品の発掘にも努め、当町のPRにつなげたい。

その他調査事項

高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定など。

総務福祉文教 委員会報告

- | | | |
|------|----|----|
| 委員長 | 関瀬 | 真澄 |
| 副委員長 | 藤田 | 義光 |
| 委員 | 小山 | 裕美 |
| 〃 | 樋口 | 瑞佳 |
| 〃 | 大路 | 恒 |
| 〃 | 池田 | 博美 |
| 〃 | 木村 | 圭二 |



西部配水場 第1配水池の改築工事（国安地内）

生活産業建設

委員会報告

- 委員長 山口 守
 副委員長 松村 芳樹
 委員 小笠 竜広
 〃 大山 和明
 〃 山田 立美
 〃 河田公利助
 〃 長谷川和重

安全で安定した水道水の確保と供給を

西部配水場施設の外壁塗装に含まれるアスベスト対策を行うとともに、管理棟の老朽改修、耐震性能を有していない第1配水池の改築工事を実施している。

また、老朽管更新工事は、社会的重要性や漏水による水道事故の影響度などを考慮し、工区を5工区に分けて進めている。

問 第1配水池の容量を3千520立方メートルから1千500立方メートルに縮小するが、大丈夫か。

答 西部配水場の各配水池の合計が7千500立方メートルになる。一カ所の配水池が使えなくなっても十分賄える。

問 老朽管の劣化度に応じた更新計画は。

答 水道ビジョンの中で、更新基準年などを定め計画を立てていく。

水道料金改定案は15%

10月19日に、稲美町上下水道運営委員会から、料金体系は現行か

ら変更せず一律15%の料金改定とすること、改定時期は7年4月とするのが妥当などとの答申があった。

問 当初20%の料金改定を掲げていたが、15%になった理由は。

答 料金改定をしなければ資金不足となるが、経営戦略策定時より実績が良好となり、20%は高すぎるとの運営委員の意見もあり、15%程度が妥当との答申を得た。

加古大池活用施設を調査

5年度から新たな指定管理者で管理運営されている加古大池活用



加古大池活用施設を現地調査

用施設を調査した。

問 草刈りやトイレの清掃で苦情があるが。

答 当初は管理業務スタッフが巡回を兼ねて清掃を行っていたが、現在は清掃スタッフを入れ、草刈りも増員して対応している。

防犯カメラ

6年度以降の防犯カメラの町内全域への設置に向け、機種の選定、設置場所の検討、各種申請資料作成、工事に向けた仕様書の作成などを行っている。

その他報告事項

省エネ家電等買替促進事業の申請状況など。（11月9日開催）

体育協会「グラウンドゴルフ協会」を訪ねて



「グラウンドゴルフ協会」役員のみなさん

どのような活動をしていますか

稲美町でグラウンドゴルフ大会を年間13回実施しています。他に、「3市2町のシニア世代の交流」の大会も複数回開催しています。対人交流や適度な運動により、シニア世代のフレイル（加齢により心身が衰えた状態）予防や医療費削減にもつなげています。

グラウンドゴルフ協会として望むことは何ですか

協会員は総数550人と大所帯ですが、減少傾向にあります。シニア世代の参加を増やし、今後永年にわたり継続運営を行っていきたくと考えています。

町に望むことはどんなことですか

健康長寿の稲美町に



なっていてほしいと思っています。そのためにも

協会員の増加や大会運営への支援をいただけたらとありがたいです。

議会だよりは読んでいますか

全刊、全ページを読んで、町議会の現状を見ています。全体的に住民が理解しやすい内容になっていると思います。町行政と町議会が一体となり、健全な運営を図り、住民が住みやすい、安全・安心な

稲美町グラウンドゴルフ協会

会長：加藤 勇さん
 役員：24人
 所属人数：男 300人 女 250人
 総数：550人

稲美町を推進してください。

言とひと



前田 和毅さん (岡東)

10月28日に加古小学校150周年記念行事がありました。当時6年生の担任をしていたので招待していただきました。30年前、小学生だった人た

加古小学校150周年に想う

ちが、立派に成長していて、とても感慨深かったです。タイムカプセルの開封式では、自分の作文と再会し、小学生の頃の自分が蘇ってきたかと思えます。想像していた自分になっていく人、違った人生を歩んでいる人。あの頃の純粋な気持ちを忘れず、大切にしてほしいと思います。

後記

今年は60年に一度の甲辰(きのえたつ)で、今までの努力が実を結んで活気にあふれる年になると言われています。広報委員会も皆様と共に躍進し、より愛される議会だよりを作れるように頑張ってます。いろいろあります。どうぞよろしくお願ひします。(小山 裕美)

広報常任委員会

- 委員長 樋口 瑞佳
- 副委員長 小笠 竜広
- 委員 松村 芳樹
- 委員 小山 裕美
- 委員 河田公利助
- 委員 長谷川和重

